

ダム工学会若手の会

第7回若手技術者のための ダム見学会開催のお知らせ

～100年先のダム管理を目指して！～

ダム工学会 若手の会では、土木工学を学ぶ学生および若手技術者の皆様に、ダムの魅力を知っていただくため、ダム見学会や勉強会を開催しています。

昨年は「ダム建設最前線！～Dam×Digital～」と題し、web勉強会の中で、3つの建設現場についてオンライン見学会（現地の動画を配信）を行いました。

沢山の皆様にご参加頂き、大変なご盛況いただきました。



令和元年 ダム見学開催状況
建設中の川上ダムをバックに記念撮影

令和4年度は、「既存ストックの有効活用」をテーマに、ダム管理の実態とダムの長寿命化に対する取り組みや既設ダムを有効活用するダム再生事業について、2回に分

けて学びたいと思います。**第1回目**は 浦山ダム、滝沢ダムのダム見学会です。管理されている

（独）水資源機構の皆様に、ダム管理における貴重なお話※を伺いながら現地を歩きます。※既設ダムが抱える問題など。

皆様のご参加を、事務局一同心よりお待ちしております！

◆ダム見学会開催要項

- ① 開催日：令和4年8月26日（金） 少雨決行（荒天の場合中止）
- ② 見学地：浦山ダム、滝沢ダム ※荒川ダム総合管理所HP ⇒ Check
- ③ 募集人数：20名 （ダム工学会会員以外の方も参加可能です。）
- ④ 申込期限：令和4年8月19日（金）⇒定員に達し次第、締切とさせていただきます。
- ⑤ 申込方法：下記のダム工学会 若手の会参加申込URLより



参加申込フォームに必要事項をご入力し、お申込み下さい。申込み後、メールにてご案内をさせていただきます。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/a838ab0d751935>

または



- ⑥ 集合・解散：西武秩父駅（改札出口付近） 集合10：00、解散17：00
- ⑦ 服装など：動きやすい服装（雨天の際は、傘等）。ヘルメットは事務局で手配します。
- ⑧ 参加費：ダム工学正会員および学生会員 3,000円、非会員 6,000円
⇒当日までにダム工学会へ入会いただくと、会員価格で参加可能です（学生会員は入会費、年会費とも無料）。
⇒当日受付時に徴収いたします（内訳は旅行保険料、バス、昼食代等）。
- ⑨ 行程表：次頁に記載
- ⑩ その他：本見学会は、土木学会のCPDプログラム認定を申請予定です。
また、研究費での参加を検討されている方は、参加に必要な資料等、事務局にご相談下さい。

お問合せ先

TEL : 03-5815-4161
FAX : 03-5815-4162
E-Mail : damko_wakate@jdec.or.jp
一般財団法人ダム技術センター内
ダム工学会若手の会事務局 田中、中村、間野



行程表（案）

日 付	時 刻	内 容	備 考
8/26 (金)	10:00	西武秩父駅（改札出口付近）	集合
	10:10	出発	貸切バスにて移動 （西武秩父駅～浦山ダム）
	10:30～12:00	◆浦山ダム見学（1時間30分）	浦山ダム管理所
	12:10～13:00	昼食（ダムカレー弁当）	ダム管理所内
	13:10	出発	貸切バスにて移動 （浦山ダム～滝沢ダム）
	14:00～15:30	◆滝沢ダム見学（1時間30分）	滝沢ダム管理所
	15:40	出発	貸切バスにて移動 （滝沢ダム～西部秩父駅）
	17:00	西武秩父駅	到着、解散
	*** おつかれさまでした！気を付けてお帰り下さい。 ***		

注意事項：「新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願い」をご確認ください。

第2回目：ダム工学会若手の会 第9回ダムを知るための若手技術者勉強会（R5年1月開催予定）

Web配信により（独）水資源機構※の皆様のご協力のもと、ダムの長寿命化計画における最新の取り組み（代替補給を活用した既設ダムの堆砂除去）や既設ダムを運用しながら有効活用する「ダム再生事業」（ダムの容量振替に伴う放流施設の増設）についてご紹介します。

※（独）水資源機構とは ⇒ Check



ダムに関わる仕事についてより理解を深めるため、初の試みで、令和4年度テーマ「既存ストックの有効活用」を設定しました。ぜひ、連続での参加をご検討下さい！

ダム初心者でも大丈夫。「ダムの基礎知識講座」で、入門編をしっかり解説致します。

詳細については、後日ダム工学会のホームページ（<http://www.jsde.jp/>）にてお知らせいたします。



ダム工学会は「技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元」を活動の目標としてさまざまな活動を行っています。本見学会はこの一環であり、土木工学を学ぶ学生や若手のダム技術者を対象としております。

【若手技術者のためのダム勉強会の趣旨】

- ❧ ダム見学・講演を通して、ダム事業の目的や効果、ダムの構造や施工、管理の方法など、様々な視点からダムについて学ぶ場を提供します。
- ❧ ダム見学やダム事業に関わる先輩技術者との対話をとおしてダムに関わる仕事の魅力を紹介します。
- ❧ 学・官・民の若手技術者の連携・交流を深める場を提供し、ダム工学に関わる技術者の活性化を促します。

主催者から参加者の皆様への新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願い

感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- ①参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせをお願いいたします。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ②マスクの持参をお願いいたします。（バス乗車時、室内での着用をお願いいたします。）
- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をお願いいたします。
- ④他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保するようお願いいたします。
- ⑤イベント中にマスクを着用しない状態での大きな声で会話等をしないようお願いします。
- ⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うようお願いいたします。
- ⑦イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告するようお願いいたします。

感染拡大防止へのご協力をお願いいたします ワクチン接種後も引き続き感染対策にご協力ください。

感染対策へのご協力、ありがとうございます。

オミクロン株は感染拡大の速度が非常に速いのが特徴ですが、変異株に対しても基本的な感染対策が有効です。3回目接種について、未接種の方は検討をお願いします。

外出する際は、今一度、ご自身の体調を確認いただき、発熱や倦怠感があった場合は、軽度であっても外出や移動を控え、自治体等の方針に従って受診や検査をお願いします。

ワクチン接種後もブレークスルー感染によって誰かに感染させてしまうケースも発生しています。高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化するリスクも高まります。感染リスクの高い行動は控え、「マスクの着用」や「手洗い」、「3密（密接・密集・密閉）回避」、「換気」など基本的な感染対策を徹底しましょう。1人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。



出典：厚生労働省ウェブサイト

（URL <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku.html>）

●ダム見学会 荒天の場合中止について

- ・荒天等によるダム見学会中止の連絡は、申込時に入力していただいたメールアドレスに送信いたします。
- ・ダム見学会当日に降雨がない場合でも前日までの降雨等により、管理所が態勢に入っている場合にはダム見学の対応が出来ない可能性があります。